

北海道國有未開地處分法改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

明治四十一年三月十三日(金曜日)午前十時二十六分開會

○委員長(侯爵大炊御門幾賢君) ソレデハ是カラ昨日ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス
○子爵曾我祐準君 本案ニ就イテ私ハ意見ヲ述ベマス、私ハ本案ニ對シテ贊成者デ
ナイノデアリマス、而シテ又唯今ノ所デ反對者デモナイ、反對デモ贊成デモナクシテ何故ニ
起立シテ説ヲ述ブルカト申シマス、私ハ一ノ建議ヲ試ミルノデアリマス、此問題ニ向ッテ
一ノ建議ヲ試ミマス、サリナガラ其建議ノ趣意トシテ少シク申述ベタイト思ヒマス、元來
本案ハ現在ノ法ト大シタ異ナル所ガ實ハ無イノデアアル、サリナガラ賣拂ノ一事ハ最モ異ナ
ル所デアリマスガ、サテ此賣拂ノ一事ト申シマシテモ此施行法ノ手加減デハ大シタ違ヒハ
是亦アリマセヌ、ソレデ賣拂ガ縱シヤアルニモセヨ、其施行方法ノ關係ニ依ッテハ殆ト現在
法ト餘リ違フコトモナク、又極端ニ之ヲ賣拂ノコトヲ或ル反對ノ方ニ行ハレタナラバ非
常ナ違ヒガアリマス、斯様ニ考ヘルノデアリマス、デ此案ト云フモノモ性質ガサウ云フ譯ニ
出來テ居リマスニ依ッテ、先達デ中ヨリ本法ヨリモ寧ロ說明書ニ就イテ諸君モ度々御質
問ガアリマシタ、又說明書ノ說明書ノヤウナモノノ御說明マデモ承ッテ、斯ウ云フ次第デ
アリマス、是ハ本案ノ性質ガ左様ナモノデアッテ、此本案ノ條文ヲ一二改正シタカラ
云ッテ餘リ效能ハ無イ、寧ロ他ノ實行法ノ手加減ニ重キヲナス案デアリマス、提出者ノ
精神ハ昨日モ柳澤伯ガ御陳述ニナツタル通り、重モナル點ハ矯正即チ弊ヲ矯メルト云フ
コト、ソレカラ地權ノ利用、ソレカラ新財事業、此三ツデアル趣デアリマスガ、私モ現長
官河島君ノ御氣風、又此矯正ニ熱心ナルコト、又長官ヲ信ズルコトノ點ニ於テハ決シ
テ柳澤君ニ後レナイ積リデアリマス、私モ確ク信ジテ居リマス、況ヤ私ハ數十年來、交
際ノアル御方デ能ク存ジテ居リマス、サリナガラ此矯正ト云フモノハ法律ニ依賴スベキモ
ノデハ殆ト無イト私ハ信ズル、如何ニ良イ法デモ行フ人ガ惡ルケレバ必ズ惡ルナリマス、
法トシテハ左ホド惡ルイ法ハナイモノデス、唯法ヲ真ツ直グニ行ハヌカラ惡ルイ、然ルニ此提
出ノ精神ハ矯正ノ爲ニ是非トモ大イナル改革ヲセナクテハナラヌカノ如ク仰セラル、ハ私
ハドウシテモ合點ガ行カヌノデアリマス、今ノ法デモ何モ賄賂ヲ取レ役人ニ私ヲシロ
ト云フコトハ一ツモ書イデアリマセヌ、今日ノ法デモ嚴格ニサレマシタラバ十分
ニ矯正ガ出來ルト信ジテ居ル、法ノ罪デハナイ、昔カラ議論ノアルコトデ
アリマス、古今論定マッテ居ル所デアリマス、法律ニ惡ルイモノハナイ、法制ニ
惡ルイモノハナイ、行ヒ様ガ惡ルイノデアルト云フコトニナル、古今根柢ノアルコトデ、
支那デモ日本デモ昔カラ、決マツタコトデ、ソレ故ニ第一ニ矯正ノ爲ニ大ナル弊ヲ
改メナケレバナラヌト仰セラル、ガ左ホド感服シナイ、ソレカラ地券利用、即チ金融上ノ關
係カラ種々ナル利益ガアルト仰セラルナラバ、ソレハ幾部分アリマセウ、併ナガラ大シテ是
ハ立派ナ金融ノ助ケニナルモノトハ信ジマセヌ、併ナガラ是ハドツチニシテモ少數デアリマス、
第三ハ財源……新財源、是ハ今日國家ノ財政ノ窮蹙シテ居ル時分ニ當ッテ少々ノ財
源デモ得ル道ガアレバ是ハ大ニ講ズベキ點デアラウト思フノデアリマス、決シテ等閑リ
ニ看過スベキモノデハナイ、併ナガラ是モ亦程度ノコトデアル、一ノ要件ニ相違ナイ、新

財源ヲ得ルコトノ要件ニ相違ナイ、是ハ最モ顧慮スベキコトデアル、水清ケレバ魚ナシ、
落穂ガ無ケレバ必ズ雀ガ集マリマセヌ、遺利ガ無ケレバ庶民來ラヌト云フコトハ自然ノ道
理、是ハ爲政家ガ餘ホド考フベキ所デアル、民ニ遺利ナカラシムル如キハ道理ノアル譯デ
ハアリマセヌ、其遺利アジデ民ヲ導クト云フコトガ爲政家ノ妙デアル、是ハ手加減デアリマ
ス、其程度ノモノデアリマス、又此案ニ付イテ政府ガ提出サレタル所ノ說明書ト云フモノ
ハ杜撰ナルコトハ過日來、十二分論破シテ置キマシタカラ、今更ッレハ申シマセヌ、併ナ
ガラ唯惜ムハ此提出者ガ北海道ノ事情ニハ餘リ精シク通ジテ居ラヌト云フ感ハ如何ナ
ル場合ニ於テモ此本案ニ付イテ甚ダ殘念ニ思ヒマス、若シ本案竝ニ政府ノ先達デ中ノ
說明ノ如クナラシムレバ今度ノ案ト云フモノハ、大農打撃ト云フ、即チ大農征伐ト云フ
コトヲ斷言スルコトガ出來マス、何トナレバ大農ニ是マデヤリ居ツタ材木ハ一切ヤラズ、大
農ニ貸付シ居ツタ地面ハ悉ク高價ニ賣リ、大農ニ渡シ居ツタ所ノ面積ハ極メテ少クス
ル、是ハ悉ク大農打撃デアリマス、私ハ此案ヲ名ケテ大農征伐案ト云ウテ支ヘヌト思
フ、ソコデ大農ハ必要ナリヤ必要デナキヤト云フコトハ私ノ一ノ先決問題デアル、何モ日
本人デアアルカラ誰デモ構ハヌ、大農デモ小農デモ北海道ガ開ケサヘスレバ宜イ、無論サウ
デアル、サリナガラ之ヲ開ケ間ニ付イテ今日ノ狀況、大農ヲ必要トスルヤ、セザルヤト云フ
コトハ、先キニ決スベキ問題デアラウト思フ、本案ノ如クナレバ大農及牧地ナドハ愈々非
常ナ退歩ヲスル、絶無トハ言ヒマセヌ、非常ニ退歩スル、少クモ先キニ進歩イタシマセ
ヌ、私ハ大農ハ今日ニ於テ必要ナリト認ムルモノデアアル、此論ニ付イテ喋々申シマスレバ
餘リ長クナリマスルカラ、是ハ差控ヘテ置キマシテ論ジマセヌケレドモ、少シク論ズレバ北
海道ヲ今日開墾シテ行ク人間ハ大農ノ爲ニ導カレテ來タモノデ、大農ノ農場ニ於テ
多少ノ資本ヲ拵ヘテ、而シテ後ニ獨立ノ民トナル者ハ澤山アルヤウニ考ヘマス、又小農
トシテ自分一己デ來テ、サウシテ失敗シテ、或ハ出水ノ爲ニ田地ヲ失ヒ、或ハ蟲ノ爲ニ
農作物ヲ喰ハレ、其他種々ノ爲ニ災難ニ遇ウテ獨立ガ出來ヌヤウニナツテ、大農ニ走リ
込ンデ來ル者ガ甚ダ數多イ、今ハ大農ハ小農ノ製出所デアアル、又逃込ミ所デアアル、是ハ
私ハ北海道ノ事情ニ通ジテ居ル御方ハ、ソレハオ前ノ説ガ間違ッテ居ルト云フコトヲ多
クハ仰シヤラレタイト思フ、私ノ見タ所ノ有様ヲ申上ゲマスノデアリマスカラ、尙ホ之ヲ反
駁スルダケノ御議論ガアルカモ知レマセヌガ、私ハ確ク信ズルノデアリマス、今日ハ大農ハ
必要ナリト右ノ故ニ考ヘル、私ハ内地ノ富豪者ヲシテ北海道ニ富ヲ最モ多クナラシムル
爲ニ大農ガ必要ナリト言フノデアリマセヌ、北海道ヲ開ク爲ノ小農ノ製造所デアアル、小
農ノ逃込ミ所デアアル、此二ツノ理由ヲ以テ大農ハ北海道ニ必要ナリト認ムル者デアリマ
ス、然ルニ此案ハ大農征伐案デアルニ依ッテ、此點ハドウシテモ私ハ合點ガ行キマセヌ、
先キニ申シマシタ通り本案存廢ニ付イテノ議論ハ本案ニアラズシテ寧ロ施行規則ニ存シ
テ居リマス、今日ニ於テモ尙ホ政府ガ先達デ中ノ說明ノ如ク杜撰粗漏、アノマ、主張サ
レルト云フコトニナレバ斷然本案ハ否決スルヨリ外ハアリマセヌ、併ナガラ政府ト雖モ即チ
政府委員ト雖モ數日來ノ議論ヲ以テ多少悟ラレタ所ガアルガラウト私ハ信ズルノデアリ

マス、ソレ故ニ茲ニ一ツ動議ヲ提出イタシマシテ、特別ニ小委員ト云フモノヲ三四名設ケラレマシテ、政府ニ交渉セシメテ、本案ナリ若クハ本案ニ伴フ所ノ施行法ナリニ於テ、相當ノ修正ヲ試ミマシテ施行法ニ於テ……施行法ニ於テ云フハ語弊ガアリマスガ、施行法ノ確定ヲ促スト致シマシテ、本案ノ修正ナリ若クハ施行法ノ確定ナリヲ促シマシテ、サウシテ政府ガ果シテ相當ニ容ル、所ガアレバ本案ハ通過サレタク思フノデアリマス、是マデ貴族院ニ於キマシテハ難儀ナル問題、即チ解キ難キ普通ノ問題ニアラザルモノニ對シテハ度々小委員ヲ編成シマシテ、政府ト交渉シテ、サウシテ成功シタ事實ガ澤山アリマス、イツモ是ハ多クハ成功シテ居リマス、唯僅ニ宗教法案ノ如キハ小委員ノ効果ヲ奏セナクテ、トウノ廢案ニ歸シマシタガ、其他ハ多ク成功シテ居リマス、其吉例ニ依ッテ今回モ三四名ノ小委員ヲ設ケマシテ、サウシテ政府ト交渉セシメテ再ビ此委員會ニ報道セシメテ、其上ニ委員會ノ決議ヲ……評議ヲ決メルト斯様ニナリタク思ヒマス、辛ニ諸君モ小委員說ニ御賛成クダサルナラバ其委員ノ數ハ二人ト決メマシテ、サウシテ委員長ニ御指名アラムコトヲ希望スルノデアリマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○子爵大田原一清君 唯今、曾我子爵カラ續々御述ベニナリマシタガ、本員ニ於キマシテハ固ヨリ北海道案ニハ暗イ人間デ、斯様ナ難案ニ私モノ出幕トモ思ヒマセヌ、併シ委員トシテ出マシタ以上ハ一言シナケレバナラヌ、昨日モ柳澤伯爵、園田男爵、又今日ハ曾我子爵カラ續々御述ベニナリマシテ、申盡サレテ居リマスカラ、モウ私ハ何モ申上ゲルコトハ無い、實ニ此案ハ重大ナ案デアリマス故ニ私ハ多辯ハ致シマセヌガ、唯要點ニ付キマシテ質問ノ場合ニ政府ノ方ニ御確メヲ申シタコトガアル、詰リ其點デアラウト考ヘマス、唯今曾我子爵ノ小委員會ヲ置カレテ先例ノ古例モアルカラ、ソレニ倣フ政府ニ交渉スルト云フコトハ大變結構ナコトデゴザイマス、私ハモウ全然御賛成ヲ致シマス

○政府委員(河島醇君) 本案ニ付キマシテハ昨日、柳澤伯爵、園田男爵ヨリ御反對ノ御意見モアリ、唯今曾我子爵カラ一ノ動議ガ出タノデゴザイマス、之ニ付キマシテ一應辯明シテ置キマス、如何ニモ不肖ガ任ヲ北海道ニ奉ジマシテ日尚モ淺キニ拘ラズ、斯ノ如キ重大ナ案ヲ提出シマシタニ付キマシテハ、昨日モ柳澤伯爵ノ御意見ノ如ク、土地ノ事情ニモ適セズ、又總テ據ル所モ杜撰デアルト云フ御疑ヒノアルノハ、御無理モナイト考ヘマス、併ナガラ此案ヲ咄嗟ノ間ニ出シタト云フノハ、何ニ歸スルカト申シマスレバ、是ハ前會モ申シテ置キマシタ如ク、明治三十九年十一月二十二日ヲ以テ即チ前任長官、此所ニ列席シテ居ラレ所ノ園田男爵ヨリ提案ヲナサレタノデゴザイマス、ソレハ內務大臣ニ提出サレタノデ、是ハ兩院へ提出サレタノデハゴザイマセヌガ、其時ノ長官ハ即チ其申請ニ述ベラレタ如ク、既往ノ經驗ニ徴シテ將來ノ趨勢ニ鑑ミ改正ヲ要スルノ條モ少ナカラズ、斯ウ云フコトヲ言ハレマシタ、即チ其案ガゴザイマシタガ故ニ、現行ノ未開地處分法ガ十餘年ヲ經過シタ、即チ前任者ガ數年間モ是ガ遂行ニ從事セラレタ人ノ經驗ニ依リ、又將來ノ趨勢ニ鑑ミラレタ所カラ、是非之ヲ改正スルノ必要ヲ認メラレタモノデアリマス、故ニ本官ニ於キマシテモ尙ホ其趣意ヲ酌シ尙ホ之ニ幾バクノ修正ヲ加ヘテ此度提出ヲ致シマシタ次第デ、私ヨリ殊更ニ土地ノ實驗モ無い、又總テノ事ノ調査モ自ラ爲スコトガ出來ナイ、ソレヲ願ミズ此大問題ヲ出シタ譯デハナイ、即チ前任者ガ提

出シタ案ニ依ッテ是ニ幾バクノ修正ヲ加ヘ提案シタノデアリマス、殊ニ私ガ其急務ヲ感シタノハ、他ノ築港其他ノモノモ餘ホド急務ニハ違ヒゴザイマセヌケレドモ、是ハ一日後レタ所ガソレデケ唯時期ガ後レルト云フコトニ止マル、是ハドウシテモ毎年處分ヲ行カナケレバナラヌノデ、一日モ待ツコトガ出來ナイ、處分ヲ行ケバソレデケノ面積モ出來ル、ソレデケノ事ヲ進行シテ行カナケレバナラヌ、ソレデケノ前任者モ四十年度以後ニ於テハ其法令ヲ改正シテ愈々其所ノ監督ヲシ、弊害ヲ矯正シ、又拓殖上ノ進捗ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ希望ニ外ナラヌト云フコトヲ認メタ故ニ、私ニ於テハ此案ヲ最モ急ト認メマシタカラ、即チ提案スルト云フコトニナラヌデゴザイマス、尙又今、曾我子爵カラ御述ベノ如ク、成ルホド表面カラ幾分大地主ヲ殆ド排斥スルヤウナ、小地主ノ方ヲ保護スルヤウナ傾向ガゴザイマシテ、其様ナ御感覺ガアルヤウニ考ヘマスガ、提出者ノ意ハ決シテサウデアリマセヌ、今ノ大地積ト申シテモ百万坪以内ニ制限ガシテゴザイマス、故ニ此度ハ有名無實ナル所ノ組合ヲ認メズシテ、共同事業ヲサセル、即チ其五倍デケハ組合デヤレル、例ヘバ二百町歩ノモノハ一千町歩、ソレカラ五百町歩ノモノハ二千五百町歩ノ面積ヲ組合ニ許スト云フノハ、大地主ヲ保護スル精神ニ外ナラヌ、唯大地主ニ對シテハ土地ヲ賣却スル、立木ヲ賣却スルト云フコトハ今ヨリモ違ッテ居リマスガ、大地主ヲ征伐シテ小地主ヲ保護スルト云フ精神デアリマセヌ、其段ハ惡シカラズ御了承ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 唯今政府委員ノ言ハレタコトニ付イテハ、間違ッテ居リマスカラ辯ジタウゴザイマスケレドモ、唯今ハ其場合テナイト思ヒマス、私ハ別ニ小地主ヲ保護サレルノハ惡ルイトモ何トモ言ヒマセヌ、ドウ云フ御開達カ全ク間違デ、ソレデケハ一言辯ジテ置キマス、是ハ我々ノ主義ニ反シマスカラ、小地主ヲ保護ナサルガ惡ルイト云フコトハ一言モ申シマセヌ、而シテ私ガ先刻提出シタル小委員說ハ贊成モ得マシタカラ之ヲドウカ御採決ニナリマシテ、サウシテ可決ニナリマシタナラバ小委員ヲ御指名ニナルヤウニ願ヒタイ、此際ニ色々議論ヲシマシタラ、マダ小委員說ガ成立ツカ成立タヌカ、成立タナカツタラ此際ニ討論ヲ始めテモ宜シウゴザイマスケレドモ、成立ツナラバ後ノコトデ宜シウゴザイマス、チヨット申シテ置キマス

○男爵園田安賢君 私ハ曾我子爵ニ御質問ヲ致シタイノデアリマスガ、委員中カラ又委員ヲ選ンデ此施行細則ノ修正ヲシタイ、サスレバ本案ハ通過サセテ宜イト云フ御意見ノヤウデアリマスルガ、大凡修正ヲナサル件ノ御指示ヲ願ヒタイノデアリマス

○子爵曾我祐準君 御答シマスガ、チヨット唯今ハ少シ私ノ趣意ト違ヒマス、アナタノ仰セラレマシタコトガ施行細則ハ勿論勅令デアリマスカラ議院ノ關知スル所デアリマセヌガ、政府ノ決心ヲ確メタイ、斯ウ云フコトデアリマス、此案ノ性質トシテ本文ヲドンク削除シテ行ケバ我々ノ志ヲ遂ゲルト云フコトデモゴザイマセヌ、ソレ故ニ今申上ゲマシタ施行細則ニモ及ブト云フハ、サウ云フ譯デゴザイマス、私ノ考ヘテ居ル所ノ目的ハ云々ニツデアリマスケレドモ、重モナルモノハ大農ニ渡ス所ハ地面ノ制限ヲ政府ノ説明ヨリ大キクシタイ、以前グラ井ニ致シタイト考ヘマス、ソレカラ賣却スル所ノ時價ヲ極メテ廉クシタイ、ソレカラ大農ニ對シテ立木ノ一部ヲ遣ハシタイ、此ニツガ私モ重モナル點デゴザイマス、時價ヲ廉クスル、立木ノ一部分ヲ遣ハスコト、言換ヘマスレバ昨年二月以後ノヤウナ譯ニシタイ、ソレカラ面積ヲ以前グラ井ニシタイト云フ此ニツデゴザイマス

○男爵園田安賢君 唯今、曾我子爵ノ御意見ニ依リマスルト、二箇條ダケハ私モ贊成シテ宜カラウト思フ點モアリマスルガ、併ナガラ過日來、縷々述ベマシタ通り到底此土地ノ賣拂代價ヲ要スル餘地ハ無イ様ニ思ヒマス、故ニ遺憾ナガラ此點ニ付キマシテ委員中カラ小委員ヲ選ブコトハ反對デゴザイマス

○男爵北垣國道君 私ハ曾我子爵ノ提出セラレマシタ小委員說ニ贊成ヲ表シテ居リマスガ、是ハ委員長ハ如何ナサレマスカ、小委員會ヲ御開キニナラヌナラバ私ハ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、小委員ヲ御設ケニナルコトニナリマスレバ其後ニ可否ヲ論ジマス、ソレデ此際ニ意見ヲ闢ハスト云フコトナラ私モ此際ニ意見ヲ闢ハセルコトガアリマス

○委員長(侯爵大炊御門幾曆君) ソレデハ曾我子爵ノ小委員ヲ置カレルト云フ動議ニ贊成ガ多イカ少イカラ確メマシタ後ニ致シマス、曾我子爵ノ小委員ヲ置カレルト云フ說ニ同意ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(侯爵大炊御門幾曆君) 多數ト認メマス、ソレデハ小委員ヲ置クト云フコトニ致シマス、其數ハ二名ト云フコトデ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(侯爵大炊御門幾曆君) ソレデハ直ニ指名イタシマス、曾我子爵、北垣男爵、原君

○子爵曾我祐準君 サウスレバ小委員會ヲ開キマス爲ニ此委員會ハ今日ハ散會ニナルコトヲ望ミマス、小委員會ニ於テ十分政府ト交渉ノ上デ更ニ本委員會ヲ開クコトヲ委員長マデ請求スルコトニ致シマス

○委員長(侯爵大炊御門幾曆君) ソレデハ今日ハ是デ散會イタシマス
午前十時五十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大炊御門幾曆君

委員

伯爵柳澤 保惠君

子爵曾我 祐準君

子爵大田原一清君

男爵北垣 國道君

男爵園田 安賢君

谷森 眞男君

原 保太郎君

谷井 勘藏君

政府委員

內務次官 吉原 三郎君

北海道廳長官 河島 醇君

北海道廳事務官 黒金 泰義君

明治四十一年三月十三日印刷

明治四十一年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局